

さいたま市が目指す日本一の教育都市への PLAN THE NEXT 「3つのG」について、浦和南高校の取組をご紹介します。

©rit 「やり抜く力で真の学力を育成します」

1 朝学習


毎朝 8:20~SHR 前の 10 分間を「夢実現タイム」として活用。生徒はその 10 分で問題演習等の課題に取り組んでいます。たかが 10 分を笑うことなかれ。隙間時間の活用は、学力定着の基本だけでなく、学習習慣の定着にもつながっています。

2 英検・GTEC 全員受験

新大学入試で導入されるという英語外部試験。本校では 7 年も前から 1 年次は全員受験の実績があります。南高には、英検受験指導方法の蓄積と実績とともに、生徒間には「全員で合格するぞ」という雰囲気があります。現 3 年次生の 2 年次終了時点での、準 2 級以上の保持率は 88%と高い合格率を保持しています。

3 充実した進路指導

本校では、外部模試を定期的に受験させ、その結果を使用した「スタディ・サポート」の実施、大学教授の模擬授業、進路支援ツール「スタディサプリ」の利用などを通じて、希望進路の実現をしてきました。今年度は新たに、学習支援クラウドサービス「Classi」を 1 年次で導入し、新入試における「主体性評価」の材料となる日常の取組を記録するポートフォリオ機能や自学自習アプリなどを活用させて、様々な面から生徒の進路実現に向けたサポートをしています。


 「一人ひとりの成長を支え、生涯学び続ける力を育成します」

1 進学重視型単位制の充実

他校より5分長い55分授業で+αの授業を提供します。また、興味関心・進路実現などの観点から主体的に選べる選択科目が多いことも、早期の受験意識啓発につながっています。2年次から6科目の選択科目、3年次からは文系、理系に分かれ、多くの選択科目があります。同時に、少人数での授業も多く、質問のしやすいきめ細かい授業環境を実現しています。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34									
1年	国語総合	英語総合	地理A	数学I	数学A基礎	化学基礎	生物基礎	体育	保健	芸術	コミュニケーション英語I	英語表現I	家庭基礎	L	H	R																											
2年	現代文B	現代文C	現代文D	現代文E	現代文F	現代文G	現代文H	現代文I	現代文J	現代文K	現代文L	現代文M	現代文N	現代文O	現代文P	現代文Q	現代文R	現代文S	現代文T	現代文U	現代文V	現代文W	現代文X	現代文Y	現代文Z	現代文AA	現代文AB	現代文AC	現代文AD	現代文AE	現代文AF	現代文AG	現代文AH	現代文AI	現代文AJ	L	H	R					
3年 (I類)	英語総合	英語表現II	英語表現III	英語表現IV	英語表現V	英語表現VI	英語表現VII	英語表現VIII	英語表現IX	英語表現X	英語表現XI	英語表現XII	英語表現XIII	英語表現XIV	英語表現XV	英語表現XVI	英語表現XVII	英語表現XVIII	英語表現XIX	英語表現XX	英語表現XXI	英語表現XXII	英語表現XXIII	英語表現XXIV	英語表現XXV	英語表現XXVI	英語表現XXVII	英語表現XXVIII	英語表現XXIX	英語表現XXX	英語表現XXXI	英語表現XXXII	英語表現XXXIII	英語表現XXXIV	英語表現XXXV	英語表現XXXVI	英語表現XXXVII	英語表現XXXVIII	英語表現XXXIX	英語表現XXXX	L	H	R
3年 (II類)	英語総合	英語表現II	英語表現III	英語表現IV	英語表現V	英語表現VI	英語表現VII	英語表現VIII	英語表現IX	英語表現X	英語表現XI	英語表現XII	英語表現XIII	英語表現XIV	英語表現XV	英語表現XVI	英語表現XVII	英語表現XVIII	英語表現XIX	英語表現XX	英語表現XXI	英語表現XXII	英語表現XXIII	英語表現XXIV	英語表現XXV	英語表現XXVI	英語表現XXVII	英語表現XXVIII	英語表現XXIX	英語表現XXX	英語表現XXXI	英語表現XXXII	英語表現XXXIII	英語表現XXXIV	英語表現XXXV	英語表現XXXVI	英語表現XXXVII	英語表現XXXVIII	英語表現XXXIX	英語表現XXXX	L	H	R

(黄色の部分が選択科目です)

2 ICT 教育環境の整備

苦手分野の克服、迅速かつ正確な進路情報入手のために、ICT教育環境の整備は必須です。本校では、タブレット160余台を導入し、ICTを活用した主体的な授業づくりを促進しています。

LL教室には、スカイプを利用しネイティブスピーカーとの英会話プログラムも使用可能。NZエレスメア高校との交換留学事前指導等にも活用しています。

進路資料室、図書室にもタブレットを常設し、放課後等の自主的なICT学習の場を提供しています。

また、全教室にスクリーンを兼ねる最新の黒板に改修。プロジェクターなどを活用した、効率よく視覚からも学習効果を高める教室環境を実現しました。



3 特徴的な学校行事で体験的な理解を推進

教科書の学習だけでは知識としての理解は進みますが、深い学びにつながりにくいとの指摘もあります。本校の学校行事は、キャリア教育の視点から多くの特徴的な活動を展開し、体験的で深い学びを進めています。

まず「2年次修学旅行」では、全員オーストラリアで4泊6日のホームステイ+終日現地校との交流を通し、プチ留学体験のようなプログラムになっています。

希望参加の「社会探検工房」は、最先端の研究所や企業を訪問し、経営者や社員の方々から各業界の課題や研究目的等について研究する宿泊行事です。数年後に社会人になる頃どんな課題があり、そのためにどんな人材が必要かなどを考える契機となっています。

「海の生物学」（希望参加）は、東海大学との連携のもと「生物学を通し、地球環境・エネルギーを考える」宿泊行事です。深海魚を解剖し、胃の中から出るプランクトンなどを研究するとともに、胃の中から出るビニール袋を目の当たりにして環境問題を体験的に理解します。



社会探検工房「テレビ東京」訪問



「海の生物学」プランクトンの観察

Global 「国際社会で活躍できる人材を育成します」

1 NZ エレスメアカレッジ高校との交換派遣生

本校との姉妹校提携を結んでいるNZ エレスメアカレッジ高校に生徒を派遣しています。短期派遣は毎年10名（夏季休業中2週間）、長期派遣は隔年若干名（夏季休業中を含む2カ月）です。さいたま市補助事業となっており、経済的にも比較的安く行けます。また、自分が派遣生にならなくても、毎年エレスメアカレッジ高校生が本校にきて、授業や部活動などで交流します。



2 2年次修学旅行

近年の目的地はオーストラリアです。観光旅行ではなく、「留学体験」プログラムになっています。4泊6日の中で、ホームステイと現地校との交流を中心に行い、英会話だけでなく初めての文化・生活習慣への対応等も経験します。



3 国際イベント交流

毎年有志生徒が、さいたま国際マラソンのボランティアに参加するほか、今年は世界約70か国からミスインターナショナルが浦和南高校に集い、生徒との交流会を実施する計画です。これを機会に、2020東京オリンピックパラリンピックなどの交流に発展することを期待しています。